

てきはいかゝ相成候哉あんし居候此元おはア様御初皆無事御安心被下度私し事たんし御礼の申つくしの不長候御せわに相成実ニ〱ありかたく御礼申候おかけにて道中何事も無不事ニ着致悦ひ居候御安心被下度其元出立の日とにかく十八日までハ天氣つゝきにて参り十八日吉岡えとまりはんゝ大雪ふり此元之着の日まで毎日ふりつゝきくるまはいかん共まわらじくるま引もいよ〱ちかれ候様子にてより所無古川ゝつな引やとい申候道中遣払ハ別紙ニしたゝめ候御らん被下度よけいニ金遣ハ申わけ無候へ共次第ニ雪もふかく成毎日ふりつゝき候へハあしの日ハしれ不申早く安着の方安心なるべしとかんかいかよう致申候道中もよく車引私共らをいたわりくれたいてへのりとふし三ヶ所計りちよつ〱とあるき申候それゆへあまりきのとくにて毎はんのように酒のませ候此元にておとう様エいさい申上手小用も致しよけいな事致したるもしれ不申候へ共かんに被下度いか計り〱お安事被下候半其元にて行ようし致又いろ〱ようちよう致させくれ候ためと実ニ〱ありかたく存居候内の様子もいか〱と心はい致し参り候所おと〱様ものちり合も存の外よろしく先達内ハよほど御ふかけんにてねたりおきたり被成候くらのよしそれゆへかなり御かんしようもあり候趣只今てハ大きによろしくよき問エ参り安心致居候御安心被下度いろ〱御見やも持せ被下おは〱様御初皆よろしく〱御礼御座候わけてもおくのハ大よろこひおくの初妹共よろしく〱お礼御座候其元にて長くふらくに致し参り候ためかつせいからもあり候へ共毎日〱ごて〱計り致し二人りの子共らさわき実ニひまな

78 (明治15年) 12月30日 菊池たよ

日増寒いたく相成候へ共皆々かわり無しのき居候哉赤ぼふのお

くこまり居候それニ付ても赤ほふの事計りおもい出し今頃ハよ
ほとかわゆく相成候半よくわろうようニなり候哉まかきほふを
たき候てかをるのせわ致らハ石か木の根にさわり候ようニ思わ
れ候なんぼ東京ニても今頃大分寒へニ相成候半とふそく風て
も引せぬようニ致し度おゐちもいよくまめしく候哉何分く
大セつに被成へく候早く申こし度存候へ共毎日のおけゆくゆら
としとりニ付いそくいそがしく存なからおそくなり御申わけ
居候ようじまて早々申こし候次第寒氣御いとい被成可とりいそ
き早々めてたくかしこ

十二月三十日

武夫との

おゐちとの

おなみとの

当し私のとふり候よくしへりよう御よみ被下度米屋おかゝ様ま
な屋お姉様那珂殿本宿殿金五郎殿えもよろしく皆々御礼御座候
おきぬ殿おこふ殿清吉エもおしけエもよろしく